

NAGASAKI

看護連盟だより

おめでとう!!

当選

石田まさひろさん



目

長崎県看護連盟会長あいさつ…………… 2

// 名誉会長あいさつ…………… 3

日本看護連盟会長あいさつ…………… 4

次

高階恵美子参議院議員あいさつ

石田 昌宏 // …………… 5

平成25年度長崎県看護連盟通常総会報告 … 6

総決起大会報告…………… 7

平成25年度地区支部総会報告…………… 8

施設紹介(みてみて my 病院)…………… 9

最終頁 編集後記…………… 10



ごあいさつ

第23回参議院選挙大変お世話になりました！

長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代

第23回参議院選挙にて看護職の組織代表である「石田まさひろ」氏は201,109票で当選されました。会員の皆様のお力だと思えます。感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回の選挙は、石田まさひろ氏は看護連盟の前幹事長であったことで知名度はたかがい恵美子参議院議員より高かったこと、ホップ、ステップ、ジャンプ、と各地域・多くの施設を訪問したときも会員の反応が良く、盛り上がりがあったこと、各支部長が楽しく活動されていたこと、など有り、もう少し票が伸びるかと思っていました。開票後、全国比例で、2・3番目に当確が出たときは手をたたいて喜んだのですが（これはアイウエオ順での発表だったそうです）、翌日、長崎県での石田氏の票がわかったときは信じられませんでした。前回たかがい選挙より、2,236票下がり6,395票でした。この数字を見たときは、選挙管理委員会の間違いではないか？どうぞ夢であって欲しい、と思いつつ何度も数字を見直しました。しばらくは力が抜けて椅子から立ち上がることができませんでした。一生懸命活動してくださった支部長さんたちも同じ気持ちだったと思えます。各施設の看護部長さん方からの反応は良く、手ごたえを感じていたのですが私の予測が甘かったんですね。

長崎県の看護職組織の士気と団結力がこの程度だったのかと疑問を感じながらも、この結果は会長としての私の力不足に尽きると考えています。

支部長さんはじめ一生懸命活動してくださった会員の皆様にお詫びいたします。

次期は今回の結果をしっかりと分析して、出直します。よろしくお願ひします。

ある国会議員が、「議員は当選させて終わりではなく、議員を動かしていかなければ何の意味もない。私たち看護職が議員を教育し、啓発し行動させ、看護職が看護の未来を創りあげていくものである」と、発言されています。石田まさひろ参議院議員には、超高齢化・多死社会へと移行する時代を目の前にして、国民の生命、健康を守るために、担い手である私たち看護職が、楽しく今日もよい看護ができたと堂々と誇りを持って看護できるための制度づくりをお願いしていきましょう。私たち看護職は「政治をうまく使う」技と力を身につけて、ベッドサイドの問題を改善していきましょう。

第23回参議院選挙、長崎県における地区別「石田まさひろ氏」得票数

	県南	県北	県央	離島	その他1	その他2
会員数(25.9.19)	3491	1253	1025	67	0	0
得票数	2690	1233	2029	403	25	15
第22回得票数	3705	1733	2509	555	98	31



ごあいさつ

長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

「夏の陣」参院選、終わって

気象異常と報じられた今夏の猛暑、実に強い日照り続き、やっとしのび寄る小さな秋、それぞれ業務にご専念のことと察します。

さて、過日の参院選「夏の陣」の戦いご苦労さま、かつ、お疲れさまでした。同志の皆さん、満足した活動で満足した結果だったでしょうか。

思わず「夏の陣、終わって空しく腕を組む」自問自答の重苦しい日々が続いております。この重苦しい中味の解決を如何にしたら満足できるか。

◎「この度のふりかえり」

1. 本番に向けて、学んだことが看護職者の個人、組織のために必要とした活動ができたか（本気で）
2. 更に必要とした活動ができたか（やる気・根気）
3. 政治力を高め、看護協会政策実現のために（個人、組織）投票に行った。（実践・活動）理解の不十分さが身に沁みた次第であります。

◎「協会、連盟の連携強化」（表裏一体）

1. 看護史を、もう一度（連盟活動の必要性）

〔日本看護協会、日本看護連盟〕
〔長崎県看護協会、長崎県看護連盟〕

2. 看護教育の場で

看護の組織について……看護協会とは、看護連盟とは、のページに是非、政治の必要性をお願いします。学んだことによって、就職時のオリエンテーションに役立つことと思います。

3. 組織力強化のために

- ・ 今回の参院選を礎に、看護協会会員、看護連盟会員は表裏一体であることを、自覚することが急務であると考えます。
- ・ 表裏一体とは……一人で二つの役割を有する組織人であり、（協会：文化団体、連盟：政治団体）その業務内容を適切に判断し、行動することであり、表裏一体となった時こそ、組織力は強化し、看護協会が急務とする政策の実現に至ることは申すまでもないと考えます。（政治の力）

◎看護をとおして、誇りある豊かな日本国のために、

- ・ 7年後の（平成32年度）東京オリンピック開催に向けて、更に人々が健康でより豊かな暮らしができるために、看護職者で何が出来るか、役割をしっかりと受け止め、それこそ、これまで培った、それぞれの看護を、教育の場で、臨床の場で、地域社会に提供することができることを共に喜びたいものであります。

季節の花も移り行く今日、ご健康に十分ご留意のうえ、協会とは、連盟活動とは、そして、表裏一体とは、何か、更なるご理解を期待し、益々のご活躍を祈念して、ごあいさつと致します。

—季節の花、女郎花の咲き揃う日に—

（平成25年9月12日記）



ご あ い さ つ



日本看護連盟会長 草間 朋子

この度、日本看護連盟会長の重責を担うことになりました。

国会議員としての長年のご経験をお持ちの清水会長の後任としては、力不足であることを痛感しておりますが、各都道府県の連盟組織の力強いパワーと連携、会員のみなさま一人ひとりの熱い情熱に支えていただき、看護界の抱える課題の改善に向けて挑戦するとともに、看護界のさらなる発展に向けて全力投球をする覚悟であります。

看護職は「チーム医療のキーパーソン」と位置付けられております。クライアントを中心としたこれからの、チーム医療に関連したさまざまな改革を実現していくためには、看護職、看護界自らが、国民目線に立った看護政策を発案し、積極的に取組んでいかなければなりません。このためには看護職の代表としての国会議員の先生方の精力的な活動が不可欠です。「看護の力」を強くすることの必要性を、特定看護師の制度化に向けての活動経験を通して実感しております。

世界に類を見ないスピードで超高齢社会を迎えたこれからの日本の安心、安全な医療保健福祉を支えていくのは「看護の力」であることを目標に、連盟組織が一丸となって、国会議員の先生方の活躍に期待し、医療職の半数以上を占める140万人近い看護職が、元気と誇りをもって活躍できる看護の現場を目指して頑張ってまいりましょう。

私も、気力と情熱だけは、誰にも負けないつもりでおりますので、どうぞよろしく申し上げます。



参議院議員 高階 恵美子

先般の参議院選挙において、国政の健全化に向けた大切な節目を迎えることができました。この喜びをみなさまと共有させていただけますことを大変光栄に存じます。

英国王室に次代を継ぐ王子さまがお生まれになり世界中が喚起した同時期に、私たち日本の看護界は、国会にフレッシュな男性議員を誕生させるという大事業を成し遂げました。看護の議席を新たに得て、これからは、成熟社会日本を支える新たな社会保障制度体系の構築に向けて、いのちを護る者が看ている視点を存分に活かした政治活動を、いっそう強力に進めて参ります。

私にとって初めての議員立法となったDV防止改正法（6/26成立）はいま、一部の方々に‘奇跡の法律’と呼ばれています。言わば不健康な関係病理による生命危機を公権で回避する特殊法であるため、議員各位の理解を得る過程が極めて険しかったからです。解決策は明らかでも了解されなければ事を成せない。だからこそ、ともに闘える同志が必要なのです。みなさまのお支えに、心から感謝申し上げます。

10月の臨時国会では、社会保障制度改革に関する国民会議の報告書を受けた法的基盤整備も含む種々の議論が白熱するものと予測されます。これからの国会審議には、実際に社会保障サービスを提供している専門家の鋭い切り込みと建設的で現実的な提案が是非とも必要なのです。時代の要請に応じて、発言し提案し行動する看護職へ！私たちの活動範囲はまだまだ無限大です。たかがいは、一人一人の悩み、気づき、アイデアをお聞きして、実際に政策に反映する橋渡し機能を果たせるよう、地道に努力を続けて参りますので、引き続きご厚情賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



応援！

ありがとうございました

参議院議員 石田 昌宏

長崎県看護連盟の皆様、日ごろよりお世話になりましてありがとうございます。石田昌宏です。お陰様をもちまして、今夏参議院選挙で当選することができました。

長崎県看護連盟の皆様から頂いた多大なご支援に心より感謝申し上げます。お一人お一人の熱い想いを今もなお感じ続けています。当選証書を授与され、胸に議員バッジをいただいたとき、全国の看護職の仲間の期待をずっしりと実感しました。私が訴え続けているモットー、それは「看護の力で日本を元気にする」です。従って、「さあ、これから看護を元気にし、日本を元気にするぞ」という意気込みで、議員バッジの重みは喜びでもありました。

そして、8月2日の国会招集日。天皇、皇后、両陛下をお迎えし、開会式が厳かに幕を開けました。その時の天皇陛下のお言葉に、身が引き締まり、喜びとともに責任の大きさを痛感いたしました。陛下はこう仰ったのです。

「国民の負託に応える政治をして欲しい」

看護職が誇りと生きがいを持って働ける現場を取り戻し、患者さんの安心と家族の笑顔を生む。私がいまず目指すところはそこです。国民の負託に応えるべく、しっかりと勉強し国会で発言してまいります。

特に秋の臨時国会においては、社会保障制度改革国民会議がとりまとめた報告書をもとに医療・介護、少子化対策、年金に関し制度改革が進められていきます。これからの看護の現場と日本にとって大切な国会審議となりますから、頂戴した票の重みを忘れることなく、積極的に議論に参加していく所存です。

改めて長崎県看護連盟の皆様衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも見守り続けていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

石田^昌まさひろ^宏が取り組む 4つの重点課題

1 健康

生涯元気でありつづけるために、「健康」をキーワードに**医療、保健、環境、食**などの環境づくりに取り組みます。

2 福祉

誰もが住み慣れたまちで暮らし続けるために、**医療、介護、福祉**を一体化させ**地域ケア**の充実に取り組みます。

3 子育て

子どもたちの笑顔あふれる未来のために、**保育、教育、女性の労働**など、トータルで安心な子育て支援の充実に取り組みます。

4 雇用

若者も、高齢者も、障がい者も、女性も生きがいを持って働き続けるために、**就労支援**の充実と**働きやすい環境**づくりに取り組みます。



石田まさひろのプロフィール

- 1967（昭和42）年、奈良県大和郡山市生まれ
- 兵庫県の甲陽学院高等学校卒業
- 東京大学医学部保健学科卒業
- 看護師として聖路加国際病院 他で勤務
- 日本看護協会、日本看護連盟で勤務
- 家族：妻・子供2人
- 趣味：観賞魚飼育、神社巡り、読書

ここで情報公開中
どどんログイン
待ってます。



平成25年度

長崎県看護連盟通常総会報告

平成25年6月29日(土) ながさき看護センター
総会員数 5758名、出席者数 515名

13:00

開会

物故者への黙祷

会長挨拶

名誉会長挨拶

表彰17名(出席者4名)

竹田茂子、森口洋子、高山みつぎ、
伊達木慶子



来賓祝辞

谷川弥一衆議院議員、中村法道県知事、宮本明雄諫早市長、
瀬川光之自民党県連幹事長、副島都志子長崎県看護協会会長、富岡勉衆議院議員、
加藤寛治衆議院議員、北村誠吾衆議院議員、末吉光徳衆議院議員、
金子原二郎参議院議員、八江利春長崎県議、徳永達也長崎県議、
自民党長崎県参議院選挙区第2支部長：古賀友一郎

祝電披露

14:15

議長団選出

県央地区第4支部支部長 福田妙子
県央地区第5支部支部長 今川洋子
会員出席数515名総会成立



〈経過報告〉

1. 平成24年度 長崎県看護連盟通常
総会報告
2. 平成24年度 都道府県会長会報告
3. 平成24年度 役員会報告
4. 平成24年度 委員会報告
5. 平成25年度 日本看護連盟通常総会
代議員報告

質疑なし 大多数の承認により可決

14:40

〈審議事項〉

1. 平成24年度 長崎県看護連盟活動
報告(案)、支部活動
報告(案)



- 2. 平成24年度 収支決算報告書(案)
 - 3. 平成24年度 監査報告(案)
 - 4. 平成25年度 長崎県看護連盟スローガン(案)
 - 5. 平成25年度 長崎県看護連盟活動計画(案)
 - 6. 平成25年度 収支予算書(案)
 - 7. 平成26年度 日本看護連盟通常総会代議員選出について
 - 8. 役員選出 幹事：砂川佳子
 - 9. 平成26年度 長崎県看護連盟総会開催地について
- 質疑なし 1～3の報告事項は承認により可決。
4～9の審議事項は大多数の賛成により可決された。

15 : 40 | 閉会

平成25年度 長崎県看護連盟スローガン

1. ベッドサイドから政治を変える！

看護の代表を国政に必ず送る

1. 長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう！

健康で輝く看護の心

看護教育の質の向上

16 : 02

総決起大会

7月21日の勝利を目指して一致団結!!!



16 : 25 | 閉会

平成25年度地区支部総会報告

石田まさひろ氏個人演説会並びに県南地区支部

日 時 平成25年7月17日(水) 18:30~20:30 参加人数 約390名 *役員含む
 会場 長崎県総合福祉センター 来賓者 3名
 内容

選挙戦も終盤に達した7月17日、「石田まさひろ氏個人演説会並びに平成25年度長崎県看護連盟県南地区9支部合同通常総会」が開催されました。日に焼けた顔、ひきしまった表情からは、これまでの壮絶な選挙戦に立ち向かってきた自信と力強さがうかがえました。黒のポロシャツ、白のズボン、運動靴でEXILEのライジングサンのBGMにて「石田まさひろ氏」が入場されました。金澤会長より、あいさつで「看護の代表を必ず当選させなければならない」と力説され、谷川弥一衆議院議員、瀬川光之自民党県連幹事長、深堀義昭市議員から励ましの言葉がありました。その後、石田氏より決意表明があり、国会議員としてまた看護の代表者として自分が「やるんだ」という決意に改めて感銘を受け、石田氏を必ずトップで当選させなければと思いました。長崎県看護協会 副島都志子会長より、応援メッセージ、そして金澤会長との握手、看護協会、看護連盟の一体感を感じました。山口名誉会長からの応援の言葉で「この選挙で必ず石田氏を当選させなければならない。当選させるだけでなく高い得票数を獲得する必要がある」と話され、最後に応援団にて終了となりました。会場の熱気が熱伝導となり連盟会員、協会会員、一般の人へ伝わり投票行動に結びつければ必ず当選できると確信しました。

参加された会員の皆様お疲れ様でした。

県南地区第6支部支部長 坂田幸利

県央地区支部

日 時 平成25年7月5日(金) 18:30~20:00 参加人数 148名 *役員含む
 会場 ながさき看護センター研修室A 来賓者 3名
 内容

7月5日、参議院選挙公示の翌日、「平成25年度県央地区総会並びに県央地区看護のつどい」を開催致しました。来賓として、長崎県県議会議員八江利春様、長崎県県議会議員中村和弥様、長崎県看護協会県央支部支部長佐藤逸子様、山口ミユキ名誉会長、金澤会長をお迎えしてご祝辞を賜りました。金澤会長は、日本看護連盟総会での日本看護協会坂本すが会長の思いを熱く語られました。報告事項の後、長崎県看護連盟新幹事として、愛野記念病院・砂川佳子看護部長の紹介がありました。県央地区役員一同心強い気持ちで一杯です。

引き続き「県央地区看護のつどい」を行いました。県央地区ポリナビ委員の皆さんがJリーガーになり参議院選挙に向かってのパフォーマンスを行いました。練習なしの即興でしたが一人一人の個性あるユニホームで会場の皆さんに熱伝導のメッセージを届けて頂きました。その後、山口ミユキ名誉会長から「勝利に勝つ！」為の「かつ」を頂き、今年は、ポスターの貼り方まで伝授して頂きました。

名誉会長の長年の経験を活かしての話に参加者の皆さんも真剣でした。又、各施設の協力を得ることができました。翌日は、看護協会県央支部会員集会の日でありましたが、佐藤支部長、各施設の施設代表者の皆様に出席して頂き心より感謝いたします。あっという間の短い時間でしたが県央地区会員の一体化ができましたと感じています。

参加して頂いた皆様ありがとうございました。

県央地区第5支部支部長 今川洋子

県北地区支部

日 時 平成25年6月27日(木) 18:30~20:00
 会場 佐世保市中部地区公民館1階研修室
 参加人数 会員93名、支部役員・県役員22名、看護協会県北支部1名(計116名)
 内容

平成25年度の県北地区報告会は、選挙も近まっていたので、会員だけの報告会としました。例年は衆議院議員や県や市の議員さんを来賓として呼び寄せておりましたが、今年は趣向を変えて、山口ミユキ名誉会長から県北地区会員へ講演していただくことにしました。金澤会長のあいさつでは、看護協会と看護連盟が一体となって行動していること、現在の看護職が抱える問題や、2025年対策など数多くの問題があるので、これを解決するには政治力が必要なこと、「石田まさひろ後援会」の力は全国的に見て厳しいということ等の話があり、会員へとにかく選挙に行こうと訴えられました。次に平成24年度活動報告、研修報告、平成25年度活動計画案すべて承認され、山口名誉会長の講演では、政治の必要性を強くお話ししていただきました。今はまだ政治運動で選挙活動ではないということを再度教えていただき、言葉の使い方の勉強になりました。

最後にはポリナビ特別委員の藤澤さんより、期日前投票を呼び掛けていただき、会員みんなで選挙へ行って、石田昌宏さんを国会へ送るぞと会員みんなの気持ちを一つにして、1本締めで終わりました。

県北地区第2支部支部長 福島美津子



上五島支部

日 時 平成25年6月25日(火) 17:00~20:00 参加人数 26名
 会場 上五島病院大会議室
 内容

平成24年度事業報告と平成25年度事業計画報告の後、石田まさひろ氏を応援するにあたって、確実な票獲得のためのグループ討議を行った。

下五島支部

平成25年10月6日(日) 10:00~12:00 開催予定



みてみてmy病院

第6回

特定医療法人 昭和会

Showakai HOSPITAL Ebisumachi HOSPITAL



昭和会病院は、市内中心部に位置し水辺の森やグラバー園に近く東山手風致地区内に立地する316床の特定医療法人です。オランダ坂が通勤路であったり、洋館型外観の為か観光客が間違っ来院することもあります。現在病院は、回復期リハビリテーション病棟や療養病床に特化し亜急性期から在宅までの主に老年期の医療、看護、介護に取り組んでいます。

介護職員も多く、褥瘡予防対策や拘束廃止、リスクマネジメント、摂食嚥下委員会など共に活動し成果を出しています。老年期の病態は、多様であり再燃を繰り返す為私たち看護師には、患者さんを全人的に捉え幅広い知識や技術を必要とされています。院内外の研修会参加や看護研究、委員会活動などを通じて個々のスキルアップを図り全体としての質の向上を目標としています。

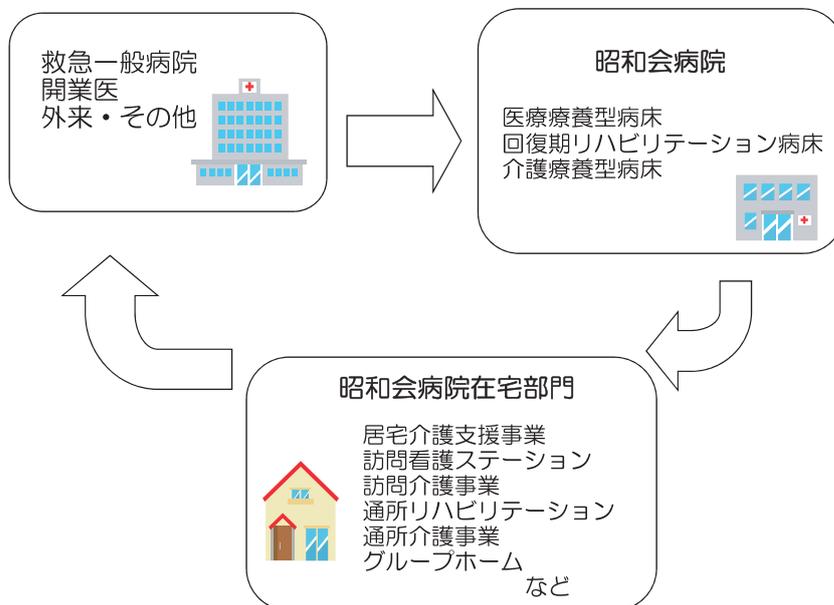
また平成23年から老年期看護の臨地実習を受け入れ教育の場を提供することで共に学び、病棟の人材育成や活性化につながっています。

月9日間の公休や2交代制勤務によりプライベートタイムが多く家事や育児、趣味や自己学習時間の確保がしやすく「看護師」としてまた「女性」として充実した日々を送っている職場環境です。(もちろん男性職員も同感)

まだまだ課題もあり今後も謙虚に院内外の方々のご意見を伺いながら、救命された「命」を大切に引き継ぐ信頼される病院、看護部でありたいと考えています。

看護部長 永松 順子 記

昭和会病院 連携図





古賀友一郎氏 参議員地方区 **当選**

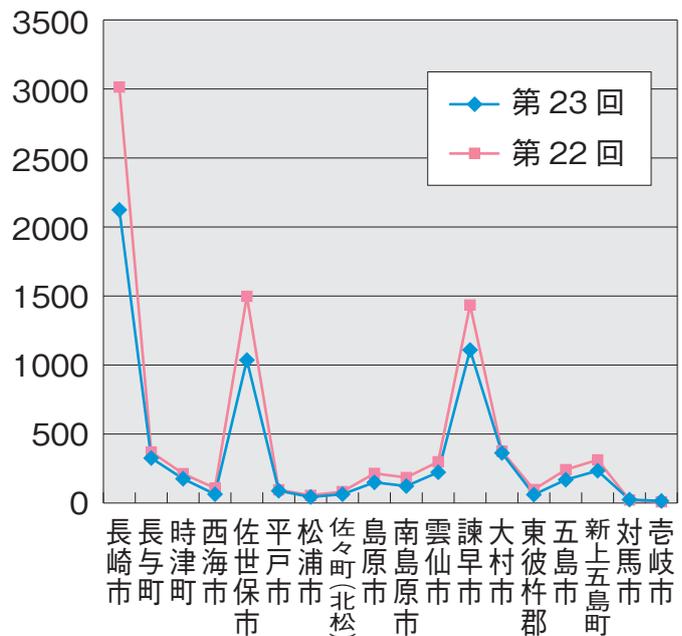
おめでとうございます!!

得票数 359,805票の
圧勝でした。
これからの活躍を期待しています。

市町村別得票数

		第23回 (石田)	第22回 (高階)
県南	長崎市	2124	3014
	長与町	326	370
	時津町	176	213
	西海市	64	108
県北	佐世保市	1036	1498
	平戸市	89	96
	松浦市	44	56
	佐々町(北松)	64	83
県央	島原市	150	215
	南島原市	123	185
	雲仙市	223	299
	諫早市	1109	1435
	大村市	363	375
	東彼杵郡	61	98
離島	五島市	169	242
	新上五島町	234	313
その他	対馬市	25	22
	壱岐市	15	9
		6395	8630

石田選挙と高階選挙の
得票数の比較



編集 後記

今年は、例年にない猛暑でした。その中での選挙戦を制し、石田昌宏参議院議員が誕生したことは、これまでの応援の成果で会員にとって嬉しいことでした。ただ長崎県の得票数は、前回に比べかなり減少してしまい実に残念です。この連盟だよりを通して、皆様に連盟の活動内容をなるべくわかりやすく発信してきたつもりでしたが、まだまだ不十分だったと反省しています。今後は、会員の皆様が興味を持って読んでいただける内容に検討を重ねていきたいと思っておりますので、ご意見があればどんどんお寄せください。

広報委員会 伊達木、馬場、村井、森田、上戸、竹下

